

「四日市市こども計画」策定に係る
意見聴き取りに対するフィードバックについて

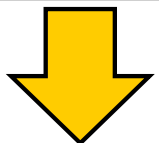
令和7年●月

四日市市こども未来部こども未来課

「四日市市こども計画」策定に係る意見聴き取りに対するフィードバックについて

このフィードバックは、「四日市市こども計画」をつくるために開催したワークショップやヒアリングでいただいた意見に対してお答えするものです。みなさんからいただいた意見をまとめながら、反映できるかどうかを考えました。意見の整理の方法は次のとおりです。

いただいた全ての意見を似ている意見に分類しました



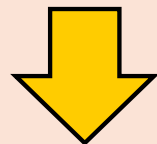
国の考えや四日市市の状況なども考えながら、
分類した意見の反映を検討しました
その上で、こども計画を策定しました



このフィードバック資料において、意見の反映状況を示しました

反映した意見

計画の対象として盛り込むことができなかった意見
(反映できなかった意見)



反映した箇所などを記載

関係部署へ共有

なお、今回いただいた具体的な意見については、取組・事業の参考とさせていただきます。

● こども施策に対するこども等の意見の反映(こども基本法第11条)

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

「こどもに関係する取組を考えるときは、こどもの意見を聴いて考えましょう」ということ。

● 意見聴き取りの主な意義

- ① こども・若者、子育て当事者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、**施策がより実効性のあるものになる。**
- ② こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、**自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。**

● 意見聴き取りの実施概要

① ワークショップ

対象者	実施時期	参加者数	実施場所	意見を求めたテーマ・内容
1. 子育て当事者	令和6年7月12日(金) 10:00~12:00	14名	四日市市橋北交流会館3階	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四日市の好きなところ、不便・不満なところ、不安なことなどについて ・ こどもと子育てにやさしいまち四日市「こどもまんなか社会」を実現するために～こんなまちになってほしい～
2. 子育て当事者	令和6年7月27日(土) 10:00~12:00	10名	四日市市総合会館8階	
3. 高校生	令和6年7月14日(日) 10:00~12:00	12名	じばさん4階	
4. 高校生	令和6年7月28日(日) 14:00~16:00	14名	じばさん4階	
5. 中学生	令和6年7月28日(日) 10:00~12:00	23名	じばさん4階	
6. 中学生	令和6年8月2日(金) 10:00~12:00	20名	じばさん4階	

② ヒアリング調査

・調査団体数	10団体	※調査対象は、「こども大綱」の重要事項と関連の深い団体を選定しました。
・調査の方法	対面	※事前にヒアリング用のアンケートに回答いただき、回答を基にヒアリングを実施しました。
・内 容	子育て支援に関する活動や意見が聴かれにくいこどもの現状と課題、新たな事業や協働へのアイデアなどを聴取しました。	

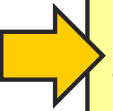
「第3章 こども計画の基本的な考え方」への意見反映

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
安心して子育てしやすいまちにしたい	●	●	●	
みんなが住みやすいまちにしたい	●	●	●	
みんながお互いに認め合い、ありのままに笑って暮らせる、多様性のあるまちにしたい(英語標識、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、外国籍住民との交流)	●	●	●	
こどもが大人になっても、住みたいと思えるまちにしたい	●	●	●	
こどもから大人まで、楽しく過ごせるまちにしたい	●	●	●	
若者が輝けるまちにしたい	●		●	
こどもが意見を言える場をつくる(こどもの模擬議会、スマホを使ったアンケートなど)	●		●	
保護者もこどもも幸せを感じられるまち	●		●	
こども関連の予算が多くなるとよい	●			
何でもチャレンジできる場所や機会があるまちにしたい	●			
こども計画を象徴するもの(絵など)を、みんなで作って、近鉄四日市駅に飾る。また、近鉄四日市駅のリニューアルを市外の人にも周知する	●			
市民が誇れるまちにしたい		●		
こどもを連れていることが後ろめたくないように、こどもに優しい人が増えるとよい			●	
地域全体で子育て世帯を優しく見守ってほしい			●	
こどもが大切だという認識が、社会全体に広まるとよい				●
学校卒業後に支援が途切れることがないよう、切れ目ない支援を充実させてほしい				●

※表中の右の欄の「●」の表記について(次ページ以降も共通)
 中 … 中学生対象のワークショップにおいていただいた意見
 高 … 高校生年代対象のワークショップにおいていただいた意見
 子 … 子育て当事者対象のワークショップにおいていただいた意見
 ヒ … ヒアリング調査においていただいた意見

意見反映時のポイント

- 社会全体でこどもの育ちを支える環境の整備と機運を高めること
- こどもと若者の健やかな成長を支えること
- 支援を必要とする様々な子育て家庭を支援すること
- 年齢に関わらず、途切れのない支援が必要であること



四日市がどのようなまちになってほしいかについて、子育てしやすさや住みやすさ、幸福感、ポジティブさなどを求める意見を多くいただいたことから、基本理念においては、「こどもは、社会の希望であり、未来をつくる大切な存在」と明記し、その上で、「**未来を担う人材(こども・若者)を社会全体で育てていく**」とし、「**こどもと子育てにやさしいまちを目指して、こども・若者の健やかな成長と子育て家庭への支援**」を実施していくことを記載しました。

また、基本方針においても、いただいた意見と国が示した「こども大綱」などを踏まえ、以下の3つに整理しました。

- ◆ こどもの権利が尊重され、こども自身の意見や視点が活かされたこども施策を実行します
- ◆ 地域、学校、行政をはじめとして、こどもに関わる様々な機関が連携して、社会全体でこどもの育ちを支える「こどもまんなか社会」を実現します
- ◆ 支援を必要とするこどもと子育て当事者に、確実に必要な支援が届くよう、支援の充実と支援人材の育成、切れ目なく支援がつながる環境整備に取り組みます

計画の対象

本計画は、本市の全てのこども・若者と子育て当事者、子育てに関わる個人・団体を対象としますが、主に高校生年代までのこどもや子育て当事者を主たる対象とします。

1 全世代共通

1. こどもの人権尊重

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
ワークショップを開催して、まちづくりについて考える機会をつくり、当事者意識を高める機会をつくってほしい	●	●	●	
「高校生のくせに」と言って、高校生を悪者にしないでほしい		●		
こどもの権利を学べる機会を増やし、こどもの権利を大切にできるまちにしてほしい			●	
子どもに対して権利に関する教育や、実生活に必要な情報や情報リテラシーなどの教育が必要と感じる				●
保護者に対するこどもの権利教育などを、子どもが幼いうちに実施するとよい				●
こどもの意見を聴き、参加できるような仕組みをつくり、子どもが参加できる社会を目指してほしい				●
施策や条例などを定める際には、こどもの権利を保障する文言を入れてほしい				●
社会的養護を必要とする子どもや、里親制度に対する偏見や差別を解消するために、人権教育に力を入れる必要がある				●



意見反映時のポイント

- 大人がこどもの権利を理解・尊重し、こどもの最善の利益を考えること
- こどもがこどもの権利を理解し、大切にすること
- こどもが意見を言える場や機会を設けること



国が示した「子ども大綱」において、「子ども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障すること」などが記載されており、こどもの権利条約の認知や人権教育の推進などが求められています。これらと同じ趣旨の意見をいただいたことから、計画において「こどもの人権尊重」の項目を設けるとともに、こどもの意見聴き取りを推進していくこととし、目指す姿や重点施策を設けました。

〔目指す姿〕

社会全体が、子どもを権利の主体として認識するとともに、多様な人格・個性が尊重されており、子どもに関わる様々な機会において、**こどもの声が聴かれ、こどもの今とこれからの最善の利益が第一に考えられている。**

〔重点施策〕

- 「子どもまんなか社会」の実現に向けた周知啓発
- こどもの意見聴き取りの推進

「第4章 本市の取組・事業について」への意見反映

1 全世代共通

2. 遊びや体験の機会づくり、生活習慣の形成・定着

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
広い公園や遊べる施設がほしい	●	●	●	
天気に関係なく、こどもが安心して遊べるように、室内施設がほしい	●	●	●	
世代を超えて、たくさんの人と交流できるようになるとよい(イベントの開催、施設の充実)	●	●	●	
小さい水族館をつくってほしい	●	●		
施設や交通機関で、高校生まで使える割引が多くあるとよい	●	●		
遊ぶところが充実していて、市外から遊びに来たいと思ってもらえるまちにしてほしい	●	●		
自然を守り、イベントや体験施設など、自然に親しめる場や機会をつくってほしい	●	●		
保護者の理解や技術ある指導者のもとで、スポーツや全国大会などができるまちにしてほしい	●	●		
高校生観光大使を設けるなど、若者がPRに関わる機会を設け、活気や元気を発信できるとよい	●	●		
こどもが自主的に行動できるイベントを増やしてほしい	●		●	
地域のお楽しみ会を日曜日に開催してほしい	●		●	
地域のイベントや行事を拡充してほしい	●		●	
スポーツ施設や公園を増やしてほしい(スケボー、バスケットボール、サッカー、野球、その他運動コース)	●			
まちに緑がいっぱいあるとよい	●			
様々なイベントや祭りを開催して、広く周知してほしい	●			
一緒にゲームができるイベントを開催してほしい	●			

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
大人の意識を改革し、乳幼児期からいろいろな体験・経験できる機会を充実させてほしい			●	
失敗経験が少なく自己肯定感の低いこどもや若者が増えている。様々な体験機会の提供やサポート体制が必要と感じる				●
こどもが遠慮なく遊べる場所があるとよい				●
インクルーシブ公園の設置やバリアフリー対応の室内遊び場がほしい				●
体験格差が広がっているため、所得に関わらずこどもたちの体験機会が増えるとよい				●
外国にルーツをもつこどもへの対応について、行政にも協力してほしいときがある				●

意見反映時のポイント

- こどもが遊んだり、失敗も含めて様々な体験をできる場や機会をたくさんつくること
- 様々な人と交流できる機会をつくること
- 公園やスポーツ施設などを整備すること
- イベントなどをこどもが企画したり、運営したりすること

遊びや体験の機会づくりや環境整備については、多くの意見をいただきました。特に子育て当事者を対象としたワークショップにおいては、こどもが遊べる環境整備や様々な体験ができる機会の提供について多くの意見をいただきました。こういった意見を踏まえ、施策の方向として「**こどもの年齢や発達に応じて、多様な体験や遊びができるような場や機会を提供**します。また、それらの開催にあたっては、地域や成育環境によって格差が生じないように配慮します。」と記載しました。また、重点施策、主な事業(P.41～45)において、多様な遊びや体験の機会づくりのための施策を位置づけました。

なお、公園や屋内施設、スポーツ施設、体験施設などの整備については、既存施設の配置や更新等も考慮しながら、検討してまいりたいと考えています。

1 全世代共通

3. こどもの貧困の解消

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
少子化対策として、奨学金の一部・全額返済を免除する			●	
こどもの学習支援は、生活保護受給世帯しか利用できない状況にあるため、利用条件を緩和してほしい				●
生活困窮家庭のこどもが訪れやすい支援場所があるとよい				●
二人親の生活困窮家庭に対しても支援の充実が必要と感じる				●
一人ひとりの置かれている状況が異なるため、個別に支援できるようにするとよい				●
生活困窮家庭への支援の方法は、別の用途に使わないように工夫が必要である				●
困窮が深刻化する前に相談できる環境があるとよい				●

意見反映時のポイント

- 幅広い家庭が利用できる学習支援が必要であること
- 置かれている状況に応じた支援が受けられる環境や支援制度があること
- 深刻化する前に相談できる環境があること

こどもの貧困の解消には、「学習支援」「支援制度」「相談支援」などが必要という意見をいただきました。貧困や貧困の連鎖によってこどもが進学を諦めるなどといった将来が閉ざされることのないよう対策を講じていく必要があります。意見に加えて、「第2期四日市市子ども・子育て支援事業計画中間改訂版」において策定した「四日市市子どもの未来応援計画」を踏まえ、目指す姿と重点施策を設定しました。

〔目指す姿〕

こどもの今と将来が生まれ育った環境によって左右されることがないよう**貧困の解消が図られ、貧困の連鎖が断ち切られている。**

〔重点施策〕

- こども学習支援事業
- 生活困窮者対策の推進

1 全世代共通

4. 障害児や医療的ケア児等への支援

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
医療的ケア区分を見直すなど、医療の進歩に応じて柔軟な支援を実現してほしい				●
児童精神科の充実や、市内の小児科医に対してスキルアップ支援などを行ってほしい				●
医療的ケア児への支援として、家族への支援を充実させてほしい				●
発達障害のこどもが増えているように感じる。周囲の理解と対応が必要に感じる				●
発達障害を持つ人の雇用を確保するために、事業者への支援が必要である				●
災害時の電力確保や薬の事前準備など、緊急時の個別支援計画作成に行政の支援があると助かる				●
医療的ケア児の状況を、地域の人たちに知ってほしい				●
医療的ケア児が施設への入場を拒否されないよう、社会的意識を高めてほしい				●
18歳以上の障害者に対する、切れ目のない支援を実現してほしい				●
医療的ケア児や重度心身障害児のために、大人用の介護ベッドを備えたトイレを整備してほしい				●
医療的ケア児の送迎サービスを実施してほしい				●
医療的ケア児が社会参加できる機会を創出してほしい				●
支援充実のために、多職種なサービスのネットワークづくりが必要と感じる				●
障害者も利用しやすいように、市役所の設備や関係課の配置を見直してほしい				●

意見反映時のポイント

- ・ 障害児や医療的ケア児のそれぞれの状況に応じた支援やサービスを提供すること
- ・ 障害児や医療的ケア児等について知ってもらうこと
- ・ 障害児や医療的ケア児本人だけでなく、その家族やきょうだい児も含めて支援すること

P.13の「図表：障害のあるこどもが利用する福祉サービス事業所数と利用人数の推移」を見ると、事業所数と利用人数はともに増加傾向にあり、障害児や医療的ケア児等の地域社会への参加やインクルージョンを推進する必要があります。

いただいた意見を踏まえ、「**障害等の有無に関わらず、安心して暮らすことができる地域づくり**」を目指すこととし、また、重点施策をはじめ、主な事業において、早期発見、早期支援を図り、こどもの特性に応じた保育・教育の提供や、支援の充実を図っていきます。また、支援の中で構築されるつながりを生かして、切れ目のない支援や様々な機会の提供を図ってまいりたいと考えています。

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
社会的養護を必要とするこどもの存在を広く周知し、社会に出た後も地域社会でこどもを支えられるようになることよい				●
養護施設に入所しているこどもが、親権者の同意なく精神科の受診や服薬できるよう柔軟な制度が必要と感じる				●
保護者への支援(病児保育、ショートステイ、夜間保育、一時保護など)の充実は、ネグレクトや虐待の回避につながると思う				●
ヤングケアラーやネグレクトは、当事者が自覚していない場合や、保護者が口止めしている場合があり、外部から気づきにくい				●
ヤングケアラーやネグレクトの事例に対して、学校が把握対応しているのか外部からはわからない				●
保護者が支援を拒否しないように、気を付けて対応する必要がある				●
ショートステイを利用できる日数の制限を見直してほしい				●
養護施設が使える、市独自の小規模な修繕補助制度があるとよい				●

意見反映時のポイント

- ヤングケアラーやネグレクトの事例は、気づきにくく、関係機関が連携しているか分からないこと
- 子育て支援が充実することで、保護者の負担が軽減され、虐待防止につながる
- 社会的養護を必要とするこどもについて理解を促し、社会全体で支えられること

いただいた意見と同様に、本市においても児童虐待やヤングケアラー、ネグレクトの**未然防止、早期発見、早期対応**が重要であると考えており、こういった対応が充実している社会を目指す姿として設定しました。目指す姿の実現にあたっては、こども家庭センターを中心に、関係機関と連携しながら、実態把握や相談、支援の充実を図ります。

「第4章 本市の取組・事業について」への意見反映

1 全世代共通

6. 自殺対策や犯罪から子ども・若者を守る取組

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
駅周辺や商店街、市民公園など、治安が良くなってほしい	●	●		
安全できれいな道路に整備してほしい(歩道の拡張、段差、横断歩道、自転車道、街路樹の整備など)	●	●		
地域の人たちに、救命講習を行いたい	●			
防犯イベントを開催してほしい		●		
ポイ捨てが多いので、ごみ拾いのイベントを開催するなど、ごみのない清潔なまちになるとよい		●		
駅のホームに柵がほしい		●		
歩行者に優しいまち(特に子ども)、車はゆっくり走ってほしい			●	
災害時の子どもや保護者、妊産婦への対応を充実させてほしい				●

意見反映時のポイント

- ・ 子どもは治安に関する不安があること
- ・ 防犯や防災、安全対策を実施すること

日常生活における不安を解消してほしいといった意見があり、防犯や防災、安全対策の充実を求めていることが分かりました。加えて、本計画の策定のために実施したアンケート調査においては、子どものインターネットやSNS等の使用は日常となりつつあることが分かり、これらの適切な利用についてリテラシーを高めていく必要があることが分かりました。これらと国が示した「子ども大綱」を勘案し、**有害な情報や犯罪から子どもを守る取組や、安全に安心して過ごすことができる環境整備**について、重点施策や主な事業を設定しました。

2 子育て当事者

1. 子育てや教育に関する経済的負担の軽減

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
子どもが医療を受けやすい環境を整備してほしい			●	
小学校の給食費を無償化してほしい			●	
補助金を充実させてほしい(育休中の会社・保育園・学校・学童保育所・特別支援など)			●	
子どもの年齢や親の収入に左右されない平等な支援をしてほしい			●	
第2子以降に、保育料が半額になる制度を復活させてほしい				●

意見反映時のポイント

- ・ 医療費や保育料等子育てにかかる様々な経済的負担を軽減すること

経済的負担の軽減については、子育て当事者から多くの意見をいただきました。国が示した「子ども大綱」では、「教育費の負担が理想のこどもの数を持たない大きな理由の一つになっているとの声がある」と記載されていることから、これまでも拡充を図ってきたところですが、「第2期四日市市子ども・子育て支援事業計画」に引き続き、本項目を設けました。今後も、国の動向や財政状況を踏まえ、引き続き、経済的負担軽減策を実施してまいります。

2 子育て当事者

2. 地域子育て支援、家庭教育支援

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
親が病気の際に、こどもの面倒を見てくれるサービスがほしい	●	●	●	
少子化対策として、こどもへの支援制度を充実してほしい	●			
こどもをもつ親が交流できる場所をつくる		●		
子育てについて頼れる場所が必要と感じる			●	
親への支援を充実し、親がゆとりをもって子育てできるようにする			●	
保護者同士の交流や地域社会とのつながりが、子育てにとって重要だと感じる。保護者が複数のつながりを持てるようになるとうい				●
子育て支援センターや児童館を地域ごとに設けてほしい				●
土日でも開かれた子育て支援の場があるとよい				●
こどもの支援を行う施設については、おむつ替えがしやすいように整備してほしい				●
ファミリー・サポートでは、支援できる範囲に限りがあるため、ソーシャルワーカーを設置するなど、家庭生活をフォローできる体制があるとよい				●
人員不足や予算不足のため、アウトリーチ支援が十分にできない				●
支援活動の担い手や事業所を増やすとともに、継続できるような行政の支援が必要である				●
一つの団体だけでは支援の手が届かないこともあるため、垣根を越えた連携ができるようになるとうい				●
各種申請や更新手続きなどの電子化をしてほしい				●

意見反映時のポイント

- ・ 子育て家庭が孤立することなく、相談や交流ができる場や機会があること
- ・ こどもが親以外の大人と関わる場や機会があること
- ・ 親がゆとりを持てたりするようなサービスがあること

子育て当事者のワークショップやヒアリングにおいて、多くの意見をいただきました。その中でも、子育てにおける親の負担軽減や不安の解消、親同士の交流の場を設けることなどを求める意見がありました。いただいた意見を基に、施策の方向を掲げ、重点施策をはじめ、これまでに充実を図ってきた事業の更なる強化を図ってまいります。

〔施策の方向〕

- 子育て家庭が孤立感や過度な使命感を抱くことなく、健康で、自己肯定感とゆとりを持って、こどもに向き合えるように、**こどもの健やかな育ちと子育て家庭を支援**します。
- 親子の交流促進や子育て相談・学びが気軽にできるように、**子育て支援センターの充実を図るとともに、利用者の支援**を行います。
- こどもの育ちや子育てに関する情報を様々なツールを活用し、効果的に発信します。

〔重点事業〕

- 子育て支援センター事業
- 第2子以降子育てレスパイトケア事業
- 子育て短期支援事業(ショートステイ事業)

2 子育て当事者

3. 共働き・共育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
働きやすいように、日曜保育や一時保育など、預かり支援を充実してほしい	●	●	●	
働きやすく、長く雇用してもらえる会社が多くあるとよい		●		
男性が育児しやすくなり、よかパパが増えてほしい			●	
子育て支援を行っている企業を支援してほしい(時短勤務、テレワーク、フレックスタイム制、休暇)			●	
託児所(スペース)付オフィスの整備をしてほしい			●	
こどもが家庭で生活できる時間が増えるよう、企業に働きかけて保護者が早く帰宅できるとよい				●
父親同士の交流は、母親同士に比べると少ないと感じる				●
父親を対象にした相談や指導などを増やし、男性が育児に参加しやすい環境づくりをしてほしい				●
男子中高生が乳幼児と関わる機会や、高齢男性が子育て経験を後世に共有できる機会などがあるとよい				●

意見反映時のポイント

- 仕事と子育て、家庭生活の両立ができるように、いろいろな働き方ができること
- 父親を対象とする講座や交流の場があること
- 働きやすさや家族との時間を持つために、企業へ働きかけをすること

子育て家庭が働きやすい環境の整備や、父親の家事・育児への参加の促進を求める意見をいただきました。国においても共働き・共育ての推進が図られており、ワーク・ライフ・バランスの充実とともに、家庭内において育児負担が女性に集中している現状を変えていく必要があります。重点施策として以下のとおり設定しました。

〔重点施策〕

- 仕事と子育ての両立できる職場環境支援事業
- 父親の子育て参画推進事業

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
保育園などに入れるよう、地域のニーズを把握し、保育サービスを充実してほしい			●	
送迎支援ステーションを整備してほしい			●	
保育士を確保するためにも、賃金を上げるなど待遇を改善してほしい			●	
きょうだいと同じ保育園に通えるようにしてほしい				●
きょうだいを保育園に入れるため、保育ポイントの加算を実施してほしい				●
こどもに関わる人たちの待遇を保障し、辞めにくい環境をつくる必要がある				●
幼少期から集団行動を余儀なくされるため、周囲の評価を気にするこどもが多い				●



意見反映時のポイント

- 保育園への入園などにおいて、希望に沿った保育サービスが充実していること
- 保育士の待遇を改善して、人材を確保すること



子育て当事者を対象としたワークショップにおいて、待機児童の問題をはじめ、保育園の入所調整の方法、保育士の人材確保に関する意見をいただきました。本市としても待機児童は喫緊の課題であり、その解決に向けては、**保育士等の人材確保**が必要と考えており、**保育士の処遇の改善**を含め、あらゆる対策を講じてまいります。本計画においては、以下の重点施策に取り組み、こどもの育ちを保障してまいります。

〔重点施策〕

- 保育士等人材確保事業
- 就学前教育・保育施設の再編
- 幼児教育推進事業

4 学童期・思春期

1. 安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
他県の高校生たちに負けないように、学習環境を整え、オンライン学習のような、学びやすい環境が整っているまちにしたい	●	●	●	
制服の種類を増やしてほしい	●			
学校の設備を整備してほしい(空調、古くて危ない場所)	●			
大学や高校を紹介してほしい	●			
こども同士が学校を超えて、交流できる機会が増えるとよい	●			
世代を超えて一緒に何か大きなプロジェクト等に取り組み、一緒にまちを発展させていく活動を行いたい		●		
専門的な学校を増やしてほしい(工業高校、商業高校など)		●		
教職員を補助する人の配置や、校内カフェのように民間事業者が学校に出入りできるとよい				●
読み書きが苦手なこどもを補助する器具の貸し出しや授業のサポートができる、リソースセンターのようなところがほしい				●



意見反映時のポイント

- 学校の施設を充実させること
- 目指す進路を選択できるように、学校の種類や内容を充実させること



学校教育については、施設や学習環境などに関する意見や、進路を始めとした将来を考えるような教育を求める意見がありました。

本市では、「四日市市学校教育ビジョン」を策定し、施設整備や1人1台学習用タブレット端末の整備、キャリア教育などを実施しています。本計画においては、「四日市市学校教育ビジョン」と整合を図り、主な事業を整理しました。

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
図書館の規模を大きくし、読み聞かせなどサービスを充実する	●	●	●	
学童保育や児童館をもっとつくて、こどもたちの居場所を設けてほしい	●	●		
学生が勉強できる自習室や自由に使えるスペースがほしい	●	●		
地域の人たちと交流し、互いに声を掛けあえるまちにしてほしい	●		●	
地域のイベントや行事を拡充してほしい	●		●	
こども食堂を充実させてほしい	●			
学習施設や学べる場所が多いまちにしてほしい	●			
中学生が遊べる場所、行きやすい場所がほしい	●			
商店街がきれいで明るくなり、こども食堂や保育園、文房具店など、こどもに関係する店舗などが増えるとよい	●			
夏休みの学童保育に給食を出してほしい			●	
自治会やPTAの活動を縮小して負担を軽減してほしい			●	
こどもが保護者以外の大人と関わる場所があるとよい				●
こどもの居場所づくりを兼ねた学習支援ができるとよい				●
小学生に比べて中高生の居場所が少ないため、中高生が気軽に利用できる居場所があるとよい				●
飲食店の「こどもの居場所」への参加促進モデル事業のような取組が、常習的に行われるとよい				●
こどもの居場所に偏りがあるため、複数の居場所を持てるようになるとうい				●



意見反映時のポイント

- 学童保育を充実させること
- こどもが行きたいと思える居場所をつくること
- こどもが勉強したり、自由に使えたりするスペースを設けること



こどもの居場所については、ワークショップとヒアリングで多くの意見をいただきました。自習室や、遊べる場所、行きやすい場所、気軽に利用できる場所、自由に使える場所など多様な意見がありました。かつてはこどもの居場所となり得た場所が減少したり、使用が制限されたりするなどこどもが育つ環境が厳しさを増しています。また、価値観の多様化や文化の広がりに伴い、**多様なニーズに応じた多様な居場所**が求められていることから、以下の施策の方向の基に、重点施策をはじめ、主な事業を実施し、居場所の創出を図ってまいります。

〔施策の方向〕

- 学校や地域、民間団体等と連携し、多様なこどもの居場所づくりを進めるとともに、安定的で質の高い居場所づくりのサポートを行います。
- こどもが放課後に安全で、安心して過ごせる学童保育所を支援します。
- 部活動やコミュニティスクールなど、学校と地域が連携しながら、多様な居場所を創出します。
- 児童館等の居場所となり得る施設において、こどもが「居たい、行きたい、やってみたい」と思える居場所づくりを進めます。

4 学童期・思春期

3. 成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
海外との交換留学を積極的に受け入れるなど、留学支援をしてほしい	●	●		
小学生に比べて中学生以上が体験できる機会が少ない。職業体験やインターンシップの充実など経験値を高められるようなまちにしてほしい	●	●		
お金についての授業をしてほしい	●			

意見反映時のポイント

- ・ 将来について考えられるような職業体験やお金に関する授業などを充実させること
- ・ 留学支援や国際交流の機会を設けること

中高生を対象としたワークショップでは、**将来を見据えて、様々な知識や経験を得る機会**を求める意見をいただきました。

いただいた意見を踏まえ、社会の一員として主体性を持って行動できる能力を身に付けることができるように以下の施策の方向に基づき取り組みを進めます。

〔施策の方向〕

- 社会の問題を自分事として捉え、課題解決に向けて、自ら考え、判断できるように、主権者教育を推進します。
- 様々な仕事などに触れ、自らのライフデザインを描けるよう、インターンシップや職場体験等のキャリア教育を推進します。
- 国際交流や地方政治等への関心を高めるなど、多様な価値観や考えに触れる機会を設けます。
- 成年年齢を迎えた際に、自ら判断し、正しい生活習慣を送ることができるよう食育等の講座を開催します。

4 学童期・思春期

4. いじめ防止

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
いじめ対策は被害者救済も大切だが、加害者に焦点を当て行動の背景などを明確化することも重要と感じる				●

意見反映時のポイント

- ・ いじめの被害者と加害者の両方の対策を講じること

いじめ防止については、積極的な認知を進めるとともに、いじめを許さない環境づくりを実施してまいります。その中で、加害者への対応も含め、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を目指して取り組んでまいります。

「第4章 本市の取組・事業について」への意見反映

4 学童期・思春期

5. 不登校の子どもへの支援

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
主だった理由がない場合や、ささいな理由で不登校になることも増えている				●
不登校の子どもがひきこもりにならないように、外出しやすい環境づくりが必要と感じる				●

意見反映時のポイント

- 不登校の理由は多様化していること
- 不登校の子どもが外出できる環境をつくること
- 関係者のスキルアップを図ること

いただいた意見からも見られるように、不登校の要因は様々であり、本人・家庭・学校などが複雑に関わっている場合があります。不登校はどの子どもにも起こり得るものであり、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、全ての子どもが教育を受ける機会を確保できるよう不登校対策を推進してまいります。

5 青年期

1. 就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組や、結婚を希望する人への支援、結婚に伴う新生活への支援

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
働くことに悩みを抱える若者が、希望する業務を体験できるよう、市役所等と協力して機会を用意できるとよい				●
同じ価値観を持つ者同士のサークルなどが構成できると、若者の結婚促進につながると思う				●

意見反映時のポイント

- 職場体験等就労支援を充実させること
- 結婚支援の際には、価値観などを考慮すること

一人ひとりが自らのキャリアを選択する時代となり、働き方が大きく変化する中で、働くことに悩みを抱える若者が、主体的に職業選択ができ、持てる能力を発揮できるよう就労支援を図る必要があります。また、結婚を希望する若者は、経済的事情や仕事などのほかに適当な相手にめぐり合わないなどといったことから、その希望を叶えられていないと考えられることから、出会いの機会を創出する支援を重点施策に盛り込みました。

〔重点施策〕

- 若者の就労に係る支援
- マリッジサポート事業

その他の意見（計画の対象として盛り込むことができなかった意見）

ワークショップでは、市が聴きたいことを尋ねるのではなく、広く意見を募りました。そして、いただいた意見の中から、こども・子育てに関する施策との関係を検討し、計画へ反映しました。その結果、こども計画へ**計画の対象として盛り込むことができなかった（反映できなかった）意見**がありました。

まちづくりや環境、観光など、みなさんの関心事、市へ期待することが分かりました。反映できなかった意見においても、こども・子育てに関係するところはありませんが、こども計画へ反映するには、分野が多くなったり、意見のメインとなる内容がこども・子育てでないものであったりするなどしたこと、いただいた意見については、関係する部署に共有し、今後の施策の参考としていただけるように取り扱わせていただきます。

◆まちづくりについて

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
今ある伝統を残し、発展させられるまちにしてほしい	●	●		
環境と産業が両立し、基盤がしっかりとした豊かなまちにしてほしい	●		●	

◆商業について

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
行きたいと思える店が少ない。店舗が増え、活気あるまちになるとよい	●	●		

◆環境について

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
公害のイメージをなくして、プラスのイメージがほしい	●	●		
サステナブルなまちになってほしい	●			
車を使わず、バスや電車を使うなど環境に配慮する	●			
海をきれいにして、ビーチをつくるなど夏に楽しめるようにしてほしい		●		

◆行政全般について

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
税収を増やす	●		●	
三重県を代表するような、他市に負けない四日市にしてほしい	●	●		

◆交通について

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
交通機関の充実や料金の値下げを行い、移動が便利になるとよい	●	●		
駅に自転車を止めるところを増やしてほしい	●			
渋滞を減らしてほしい		●		
電動キックボードを誰でも使えるようにしてほしい		●		

◆まちのPRについて

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
有名人やインフルエンサーに協力してもらい、SNSを利用して市をPRする	●	●		
話題になるようなスポットがあり、市外から観光に来てもらえるまちにしてほしい	●	●		
名物になる食べ物など、特産品が増えてほしい	●	●		
夜景を見やすくするなど、観光しやすいように整備する	●			

◆ITDX推進について

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
申請などの手続きや回覧板などにITを活用してほしい			●	
フリーWi-Fiを安定して使えるようにしてほしい		●		

◆その他

みなさんの意見	中	高	子	ヒ
駅に誰でも使える傘を置く	●			

貴重なご意見をありがとうございました。



みなさんにいただいた意見をこれからの取組を考えるときの参考にさせていただき、『こどもと子育てにやさしいまち四日市』を目指してこども計画を推進していきます。

四日市市こども未来部こども未来課